

# ECALGA

## ECALGA標準の現状と 今後の展開

JEITA  
ECCENTER

# ECALGA標準の現状と今後の展開

## 1. ECセンターの取り組み課題

- (1) ECALGA実用化・普及
- (2) ECALGA国際化対応
- (3) 品質環境情報の企業間流通

## 2. ECALGA2006A標準化計画

# ECALGA実用化ロードマップ(更なる普及)

活動形態		2005/下	2006/上	2006/下	2007/上
<b>実用化ロードマップ</b>  既存モデル: 12000 社	<b>先行企業による実用化</b> JEITA-VMI 納入仕様書交換	<b>導入企業の拡大</b> <b>新規モデルの実用化</b> 環境情報交換	廃止品情報	<b>中堅・中小企業に展開</b> <b>国際取引への実用化</b>	
	新規モデル実用: 35 社	 50 社	100 社		
<b>ECセンター活動</b>	<b>標準化</b> 環境情報交換(WEB化等) 国際取引モデル 廃止品情報交換	新製品情報交換	<b>JITモデル</b> 品質・環境トレーサビリティモデル		
	<b>ユーザ拡大</b> ・グローバル化 ・インフラ強化	赤本翻訳 PO,INV ドラフト WEB-EDI標準仕様 共通クライアントソフト無償配布	業界交流 (KEA, CECA等) 電子認証検討	日中韓連携 電子タグインフラ整備 環境情報共有化インフラ整備	

# ECALGAの実用化現状

導入企業 (初期実用化モデル)	2005/下	2006/上	2006/下	2007/上
シャープ(株) JEITA-VMI	→ 実用化(矢板工場)	→ 取引先の評価・取引先拡大	→ 社内他工場へ展開	
三菱電機(株) ベーシックEDI	→ ベーシックEDIの導入テスト	→ ベーシックEDIの実用化	→ VMIと仕様書交換の実用化	
日本ビクター(株) 仕様書交換	→ 実用化(取引先数社)	→ 取引先拡大		
(株)日立製作所 仕様書交換	→ 既存システム基盤上で実用化	→ システム基盤を ebXMLへ移行		

# ECALGA国際化対応

## 1. 海外取引用メッセージ標準化・実用化

- (1) P/O, INVOICEのドラフト評価中
- (2) ホワイトペーパー化 (2005/下)
- (3) 海外日系企業実用化 (2006/上～)

## 2. 国際連携

### (1) 韓国との連携

- e-Biz Sub Committee (JEITA-KEA)を通じた、  
カタログコンテンツの日韓相互検索システム活用拡大と、

ECALGAをベースとした日韓ビジネスモデル標準化連携

### (2) 中国業界団体との連携

- CECA (China Electronic Component Association)
- CECC (China Electronic Chamber of Commerce)

# 環境情報の企業間流通促進

## ■標準部品(カタログ品)の環境情報流通

経済産業省の委託を受け、標準部品60万件の環境情報一般公開を推進  
また合わせて、ECALSコンテンツ公開部品の大幅な拡大を図る

<現在>29社、65万件 → <目標>80社、85万件

計画項目	2005年度				2006年度(見込み)				
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
セットメーカーへの第1次電子部品情報需要調査	■								
第1次拡充電子部品種と部品メーカーの選定	■								
部品メーカーとの交渉		■							
第1次コンテンツ作りこみ			■						
ECALSコンテンツ : 8万点			■						
環境情報コンテンツ: 20万点			■						
第1次コンテンツ公開				■					
第1次コンテンツの評価				■					
セットメーカーへの第2次電子部品情報需要調査					■				
第2次拡充電子部品種と部品メーカーの選定					■				
第2次選定部品メーカーとの交渉						■			
第2次コンテンツ作りこみ							■		
ECALSコンテンツ : 12万点							■		
環境情報コンテンツ: 40万点							■		
第2次コンテンツ公開							■		

## ■納入仕様書電子交換モデルによる環境情報流通

ECALGA2006Aに納入仕様書電子交換モデルによる環境情報流通を追加

# ECALGA Ver2006A—Rev01の概要

- 1.発行媒体の追加      CD-ROMに加えて冊子を発行  
冊子は4分冊にし、読みやすさを工夫  
=>詳細は次ページに
- 2.内容の追加変更
  - 1)モデルの追加=>
    - ・JEITA—VMI暫定版の正規化
    - ・廃止品プロセスモデル新規追加
    - ・環境情報交換モデル(Ver2004A追補版)のVer2006Aへの体系的取り込み
  - 2)内容の追加   =>
    - ・納入仕様書の電子署名機能追加
    - ・納入仕様書に環境情報添付機能追加
    - ・サプライチェーンモデルにCII対応追加
  - 3)項目の追加   =>
    - ・JEMA要望に対応し  
サプライチェーンモデルに  
代理店・特約店情報項目等を追加

# ECALGA Ver2006A標準体系

分冊番号	記述内容	(記述形式)補足説明
分冊1 約480頁	I. 解説編 II. 技術編 III. ビジネス辞書編 IV. 資料編	ECALGAでCII形式使用可能に ビジネスドキュメント定義 にCII仕様を追加
分冊2 約150頁	I. エンジニアリングチェーン編 1. 納入仕様書交換 2. 環境情報交換 3. 廃止品	エンジニアリングチェーンに関する 業務シナリオを一冊に集約
分冊3 約660頁	I. サプライチェーン1編 1. 見積 2. 支給 3. 受発注 4. 標準納品システム 5. JEITA/VMI 6. 返品 7. 請求支払い(7モデル)	従来のバッチデータ交換型モデル 交換順序はフレキシブル
分冊4 約270頁	I. サプライチェーン第2編 1. 所要・予約モデルCBC 2. 所要・確定モデルCBC 3. コンサイメントモデルCBC 4. JEITA/VMIモデル II. サプライチェーン第2編 BC定義書	ビジネスプロセス主体型のモデル きめ細かな情報交換が要求される 基本的には情報は1件ずつ交換 業務により複数件交換あり

# 「EIAJ-2001年版」英語化/中国語化

グローバル化の一貫として「EIAJ-EDI標準 2001年版」の英訳及び中国語(簡体字)訳を実施

・背景及び主な目的:

- 中国を中心としたアジア地域におけるWEB-EDI及びEDIを導入する際にEIAJ-EDI標準 2001年版の翻訳版を参照することにより受発注者双方における合理化を図る。

・入手方法:

英語訳	会員	10,500円/1部	一般	21,000円/1部	
中国語訳	会員	7,350円/1部	一般	14,700円/1部	(いずれも税込)

11月30日迄は、定価の”半額割引”となります。

申込、詳細は <http://ecjeita.or.jp/> > 刊行物の案内 > 旧EIAJ-EDI標準をご覧ください。